

## 企画展『多様な埼玉の生きもの～虫・むしワールド～』

展示期間:6月28日(火)から8月31日(水)まで

碓井 徹

この夏、2階の展示『多様な埼玉の生きもの』の中に、昆虫の特集コーナーを用意しました。名付けて『虫・むしワールド』。

本県で見られる多様な昆虫類を、たくさんの標本と生態写真などで紹介しています。おなじフロアには、埼玉県に生息する希少な野生動植物の剥製・標本やレプリカ、外来の動植物の生態写真などの展示もあり、虫たちの様々な生活を支えている多様な自然環境についても合わせてご覧いただけます。

埼玉県は、全国的にみても生息する昆虫相について非常によく調べられている都道府県のひとつで、これまでに約1万種の昆虫が記録されています。今回はそのうちの350種類ほどを選んで40箱の標本箱に並べて展示をしています。その中から、特に注目していただきたい標本について、ここでいくつかご紹介しておきます。

◆埼玉県からはすでに絶滅してしまった、日本最小のトンボといわれるハッチョウトンボの、およそ50年前に県内で採集された標本(写真1)。

まだマイカーなど誰も持たず、地図も十分に手に入らなかった当時、昆虫採集へは電車やバスで出かけ、有名な山でもない限り、採集場所の地名には駅やバス停の名前を書くのが一般的でした。

この標本のラベルに記された『武蔵高萩』は、現在の日高市にあるJR川越線の駅名です。採集者は、武蔵高萩駅で列車を降り、徒歩で昆虫採集をしながら女影地区にある仙女ヶ池に辿り着いて、このハッチョウトンボを採集したようです。

◆埼玉県で唯一、県条例で『採集禁止』になっている昆虫のソボツチスガリ(写真2)。

ミツバチよりもずっと小さなハチであるソボツチスガリは、小型のゾウムシ類の成虫を捕獲して巣に運び込む、という珍しい習性をもつ狩りバチの一種です。(写真3)

このハチがなぜ本県では採集禁止になっているのかという解説も含めて、貴重な標本と興味深い



図1 埼玉県産ハッチョウトンボ



図2 ソボツチスガリの標本



図3 ゾウムシを運ぶソボツチスガリ

生態写真とで、この希少なハチの不思議な生活を  
紹介しています。

また、『虫・むしワールド』に合わせて、隣接する  
“季節展示コーナー”でも、2期にわけて次のよう  
な内容で昆虫を取り上げています。

### 『海を渡るチョウ アサギマダラ』

展示期間 6月28日(火)～7月31日(日)

TVや新聞などでもしばしば取り上げられている  
大型で美しいマダラチョウの特集コーナーです。

アサギマダラは、捕獲してハネにマークを付けて  
放し、それが別の場所で再捕獲されることによって  
かなりの距離を移動することがわかってきました。  
これまでに、日本国内で2000kmを超えるほどの  
長距離を移動した例も知られています(図4)。

これらの移動調査にはインターネットによる情報  
交換が積極的に用いられており、虫に印をつけて  
放すという古典的な研究手法と、インターネットと  
いう新しいテクノロジーが結びついて、非常に興  
味深い調査が全国規模で展開されています。

これまで、他県でマークされて埼玉県で再捕獲  
されたアサギマダラは5例が知られており、その全  
データを写真やパネルで紹介しながら、この不思  
議な能力をもつチョウの魅力を解説しています。  
あわせて、マーキング調査の手法や関連書籍など  
の情報についても紹介しています。

### 『セミとアメンボは友だち』

展示期間 8月1日(月)～8月31日(水)

チョウやガ、クワガタムシにセミ、ハチ、アメンボ、  
トンボなどなど、私たちの身の回りにはじつに多種  
多様な昆虫が生活しています。

それらいろいろな昆虫を体のつくりなどから分類  
してみると、驚いたことに、セミとアメンボは同じグ  
ループの昆虫だということがわかります。しかも、こ  
れらは、くさい臭いを出すことで有名なカメムシの  
仲間なのです。

このコーナーでは、埼玉県の平野部でみられる  
おなじみのニイニイゼミやアブラゼミ、ヒグラシなど  
を生態写真と鳴き声で、また、じっくりと観察する機  
会の少ないアメンボたちの生活を生態写真で  
紹介します(図5, 6)。



図4 長距離移動をするアサギマダラ



図5 保護色がみごとなニイニイゼミ



図6 ハネナシアメンボ(正式な和名です)

お隣の『虫・むしワールド』では、埼玉県でみられ  
る11種のセミと9種のアメンボの標本も展示してい  
ます。

ところで、カメムシとセミとアメンボの体のつくりに  
は、どんな共通点があるのでしょうか？

ぜひ、この展示をじっくりとご覧いただき、その  
答えを探し出して下さい。

(うすい とおる 担当課長)